

美術館で「琉球人形」を展示するようになるまで —美術家の視点から—



講師：ひがれお（聞き手：土屋誠一）

日時：2026年1月21日（水）18:30~20:00

会場：沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス

一般教育棟3階 大講義室 (入場無料・予約不要)

講座概要

気鋭のアーティスト「ひがれお」は、

出身地である沖縄をテーマとしつつ、作品を展開させてきました。

近年、「琉球人形」をメインとしたインスタレーションに取り組んでおり、その最新型が、現在、森美術館で開催されている「六本木クロッシング2025展」（～2026年3月29日）にて発表されています。

既製品である琉球人形を表現に組み込むことで、どういったメッセージを伝えようとしているのか、そのアーティストとしての思考に迫ります。

ひがれお略歴

1995年沖縄県生まれ。2018年秋田公立美術大学卒業ののち、2020年沖縄県立芸術大学大学院修了。

近年の主な展覧会に「六本木クロッシング展 時間は過ぎ去る わたしたちは永遠」（森美術館、2025年）、

「眠れよい子よ よい子の眠る／ところ」（神奈川県民ホールギャラリー、2024年）など。